

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である

学校名	唐津市立北波多小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	・「学力の向上」では、児童の「問い」を活かした単元づくりに取り組んだ。問いを追究する手段や方法を児童に選択させる機会を作ることで、個別最適な学びや協働的な学びの実現につながった。県学調の結果から、思考力・判断力・表現力の伸びも確認できた。今後は、記憶する「知識・技能」の定着や小中連携での取組の研究の充実を図り、更なる学力の向上を目指したい。 ・本年度もコロナ禍であったが、感染対策を取りながらできる限り行事や活動を行ってきた。3年ぶりに実施できた活動（運動会での志気浮立など）や新たな取組もあり、「自律」「協働」「創造」の学校教育目標の達成に向け、効果的な教育活動を図ることができた。今後も、地域や保護者との連携をとりながら、本校の宝である「学校ボランティア」等の活用も推進し、実践に努めていきたい。 ・様々な特性をもった児童がみられ、対応に苦慮する場面もあった。特別支援教育に関する知識と実践力を高め、組織的に支援にあたっていかねばならない。
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	とことん学び とともに高めあう 元気いっぱい北波多っ子 ～自律・協働・創造を目指した学校づくり～
----------	--------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	◇確かな学力の育成 ◇豊かな心の育成 ◇健やかな体づくりの育成 ◇安心・安全な学校づくり ◇特別支援教育の充実 ◇地域との連携強化
------------	-------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有する。 ・国語、算数を中心に、授業の中に書く活動を位置づける。(自分の考えを表す時間やまとめの時間、ふりかえりの時間など工夫して取り入れる)							
	○子供の「問い」を活かす授業	○児童の「問い」を活かす授業を推進できたと言及的な回答をした教師80%以上	・主体的で対話的な学びの創造に向け、「授業づくりのステップ1・2・3」を活用し授業研究に取り組む。 ・一人1回、算数の研究授業に取り組む。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○集団の中で積極的に活動したり協力したりできた児童85%以上 ○進んであいさつをすることができたと肯定的な回答をした児童の割合80%以上	・縦割り班での遊びを通して、異学年交流に取り組む。 ・人権教室「かがやきタイム」の充実を図り、「仲間づくり」に視点を置いた取り組みを実施する。 ・委員会やボランティアの児童と共に、朝のあいさつ運動を推進する。							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「困ったことがあれば、先生や保護者に相談できる」と肯定的な回答をした児童の割合80%以上	・O-1アンケートや毎月の「心のアンケート」の結果を週1回の連絡会で情報共有を行うとともに学級経営に生かす。 ・いじめ防止対策委員会を中心にいじめ防止対策を行う。年2回の拡大委員会を開き、情報共有と適切な対応を行う。							
	●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよところを認めてくれてると思う」と回答した児童90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・キャリア教育に関わる諸活動について、キャリアパスポートを系統的に位置づけ、自身の変容や成長を自己評価させる。 ・郷土について学ぶ体験活動をカリキュラムに位置付ける。							
	○人権・同和教育の推進 ○心のアンケートの推進	○各学年での人権・同和教育に関する授業の実施を100% ○「学校では、楽しく生活することができていますか」で肯定的な回答をした児童80%以上	・人権教室「かがやきタイム」の充実を図り、「仲間づくり」に視点を置いた取り組みを実施する。 ・「心のアンケート」の結果を週1回の連絡会で情報共有を行うとともに学級経営に生かす。							
●健康・体づくり	望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上	・各学期において、食に関する指導を全クラスで行い、児童の食に対する意識を高める。							
	○「望ましい生活習慣の育成」	○「北波多っ子生活約束週間」の調査において、早寝早起きと朝ごはんの習慣ができた児童が90%以上	・家庭と連携して、望ましい生活習慣の定着を図っていく。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務記録を活用し、毎月の時間外勤務の時間が45時間以下になるようタイムマネジメントの意識を高める。 ・校務分掌や教材研究に係るデータの共有化を図る。 ・年休取得日数を昨年度より増やし、定時退勤日(毎週金曜日)の遵守を進め、メリハリのある業務推進とワークライフバランスの意識の向上を図る。							
	○業務精選の推進	○行事の精選や日々の業務の不断の見直しをさらに推進する。	・業務の効率化、働き方改革が進んでいると感じる職員の割合を90%以上							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
○小中連携の充実と地域連携の強化	○小中連携による学力向上と、地域住民(学校支援ボランティア)・保護者と協働した教育課程の実施	○小中連携・地域連携による取組への肯定的な回答をした保護者・教職員の割合80%以上。	・小中合同推進委員会と研修会の定期的な実施 ・小中相互の授業参観 ・学校教育活動に合った学校支援ボランティアとの連携を推進する。							
○特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する知識の深化	○特別支援教育への理解が深まったと回答する教職員の割合80%以上	・週1回の子供支援会議の実施 ・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催と情報共有							

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------